

南部・西部地区の区立中学校の統合の取組

目黒区教育委員会では、令和7年4月に、「第七中学校と第九中学校」、「第八中学校と第十一中学校」を統合して、新設中学校2校を開校し、令和9年度中を目途に建て替えにより整備する新校舎へ移転予定です。今後は、令和5年3月に策定した統合新校整備方針に基づき開校に向けた具体的な準備を行います。

統合新校整備方針(令和5年3月策定)は、
区ホームページ(右コード)からご覧いただけます。



令和5年度はどんな取組をしているの？

両校の交流活動

令和7年4月の新校開校までの円滑な移行に向けた取組として、両校の生徒間の交流活動を行っています。

第七中学校と第九中学校の交流(合同校外学習)



飯ごう炊さんの様子



アスレチックの様子

第七中と第九中で、千葉県野田市にある清水公園で合同校外学習を行いました。実行委員が中心となりスローガンを決めたり、会の司会等の役割を担ったりしました。

午前の飯ごう炊さんでは、調理担当とかまど担当が協力しながら、カレーライスを作りました。飯ごうでご飯を炊いたり、野外で調理したりと良い経験になりました。また、家族や給食の調理員の方々の苦勞に思いを寄せる発言も聞かれ、普段自分たちを支えている人々への感謝の気持ちが高まりました。

午後のアスレチックでは班に分かれてコースを回りました。途中、第七中と第九中で一緒にコースに挑戦する場面では、お互いにアドバイスをしたり、励まし合ったりしていました。

第八中学校と第十一中学校の交流(八ヶ岳自然宿泊体験教室)



レクリエーションの様子



飯ごう炊さんの様子



レクリエーションの様子

第八中と第十一中が合同で八ヶ岳自然宿泊体験教室を行いました。事前に実行委員とレク係が第十一中に集まり、生活のルールやみんなが楽しめるレクリエーションについて話し合いをしました。

初日の夜は体育館でレクリエーションを行いました。また、雨天のため、オリエンテーリングはできませんでしたが、飯ごう炊さんをホテルの敷地で行いました。第八中と第十一中の生徒で合同班をつくり、一緒にたき火で作ったカレーはとてもおいしく、一気に仲が深まったと思います。

2日目の夜もレクリエーションを行いました。レク係が中心になって皆で楽しめるミニゲームのブースをいくつか作り、第八中生徒、第十一中生徒でチームを作って回りました。色々なゲームを皆で楽しむことができました。

また、教員間では、生徒や保護者の方が学習活動や学習評価について不安なく新校開校を迎えられるよう、計画的に準備を進めています。

学習評価に関しては、開校時に第3学年となる令和5年度第1学年の段階から、両校で同じプロセスで学習評価を行うことができるようにするため、令和4年度から教科ごとに評価基準や成績の付け方等について教員間で確認を行ってきました。また、使用教材を揃えるなど統合に向けた準備を進めています。

合同職員会議の様子



(第七中学校・第九中学校)



(第八中学校・第十一中学校)

新校の校名選定

6月に生徒をはじめ、保護者・地域の方々等、広く校名を公募し、統合対象校の生徒のみなさんに、応募された名称に対する投票を実施しました。令和5年9月中に、教育委員会で選定する予定です。

新校の校名の選定状況は、
区ホームページ(右コード)からご覧いただけます。



児童・生徒参加による校章・校旗、校歌、標準服・校則の検討

統合新校のシンボルとなる校歌や校章、標準服等を統合対象校の生徒、統合対象校の通学区域の小学生のみなさんと一緒に検討して、決定していきます。

検討内容	取組内容(令和5年度の予定)
校章・校旗	<ul style="list-style-type: none"> ● 専門家による校章制作ワークショップ(統合対象校生徒) ● 児童・生徒投票(統合対象校生徒、小学生)
校歌	<ul style="list-style-type: none"> ● 歌詞のフレーズ募集の実施(統合対象校生徒、小学5・6年生) ● 生徒参加による校歌制作(統合対象校生徒)
標準服	<ul style="list-style-type: none"> ● デザイン等アンケートの実施(統合対象校生徒、小学5・6年生)
校則	<ul style="list-style-type: none"> ● 外部人材も活用した生徒参加による校則見直し、新校の校則検討(統合対象校生徒)

既存校舎の校舎改修・新校舎の整備

新校の校舎として当初使用する、既存校舎(第七中学校・第八中学校)の改修等を行います。また、第九中学校と第十一中学校の場所に整備する、新校舎の設計等を進めます。

南部・西部地区の区立中学校の統合に関する
問い合わせ先

目黒区教育委員会事務局
学校統合推進課

電話：5722-9301(直通)

第七中学校・第九中学校の統合



設置時期・設置場所

- 令和7(2025)年4月1日
現在の**第七中学校**の場所(目黒区碑文谷一丁目1番33号)で新校を開校します。
なお、第七中学校に設置の特別支援教室「つばさ」(拠点校)は、新校に引き続き設置します。
- 令和9(2027)年度中を目途(建て替えによる新校舎整備後)
現在の**第九中学校**の場所(目黒区洗足一丁目29番26号)に移転します。
※新校舎完成後移転するまでは、現在の第七中学校の既存校舎を改修して利用します。

		令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度	令和9(2027)年度	令和10(2028)年度
お子様の学年 (令和5年度)	中1	中2	中3			
	小6	中1	中2	中3		
	小5		中1	中2	中3	
	小4			中1	中2	中3
	小3				中1	中2
	小2					中1
第七中学校校地			統合 →	統合 →	(令和9年度中を予定)	
第九中学校校地			統合 →	建て替え工事 →	移転 →	

通学区域

新校の通学区域は、現在の第七中学校、第九中学校の2校の通学区域を合わせた区域です。
新校の通学区域内の小学校は、碑小学校、向原小学校、月光原小学校、原町小学校です。

- 町丁別通学区域
 - ◆ 目黒本町二丁目、三丁目、四丁目、五丁目、六丁目 ◆ 原町一丁目、二丁目 ◆ 洗足一丁目、二丁目
 - ◆ 南一丁目 ◆ 碑文谷一丁目、二丁目

目指す学校像

目指す学校像	学校づくりの視点
生徒が多様な人々と出会い、協働して新たな価値を創造する学校 (生徒を中心とした視点)	・ダイバーシティを実現し、関わりを大切に学習活動の充実 ・豊かな心を育成する人権教育、道徳教育の推進 ・実社会で生きる力をはぐくむ自発的、自治的活動の推進
生徒一人ひとりの豊かな可能性を引き出し、しなやかに生きる力をはぐくむ学校 (教職員を中心とした視点)	・ウェルビーイングを実現する、生徒も教員も活力あふれる教育課程を編成 ・学ぶ意欲を高め、学びを深める先端技術の活用 ・国際社会で活躍する人材を育てる国際理解教育の推進、コミュニケーション能力の育成
地域とともに育ち、地域に支えられ、地域を支える学校 (地域を中心とした視点)	・地域運営を支える教育活動の推進 ・地域や社会の教育力を活用した小中連携、企業連携の推進 ・夢や希望をはぐくむキャリア教育や体験学習の充実

第八中学校・第十一中学校の統合



設置時期・設置場所

- 令和7(2025)年4月1日
現在の**第八中学校**の場所(目黒区碑文谷四丁目19番25号)で新校を開校します。
なお、第八中学校に設置している特別支援学級(E組:知的障害特別支援学級)は、新校に引き続き設置します。
- 令和9(2027)年度中を目途(建て替えによる新校舎整備後)
現在の**第十一中学校**の場所(目黒区緑が丘一丁目8番1号)に移転します。
※新校舎完成後移転するまでは、現在の第八中学校の既存校舎を改修して利用します。

		令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度	令和9(2027)年度	令和10(2028)年度
お子様の学年 (令和5年度)	中1	中2	中3			
	小6	中1	中2	中3		
	小5		中1	中2	中3	
	小4			中1	中2	中3
	小3				中1	中2
	小2					中1
第八中学校校地			統合 →	統合 →	(令和9年度中を予定)	
第十一中学校校地			統合 →	建て替え工事 →	移転 →	

通学区域

新校の通学区域は、現在の第八中学校・第十一中学校の2校の通学区域を合わせた区域とします。
新校の通学区域内の小学校は、大岡山小学校、緑ヶ丘小学校、中根小学校です。

- 町丁別通学区域
 - ◆ 南二丁目、三丁目 ◆ 碑文谷三丁目、四丁目 ◆ 平町一丁目、二丁目 ◆ 大岡山一丁目、二丁目 ◆ 緑が丘一丁目、二丁目、三丁目
 - ◆ 中根二丁目 ◆ 自由が丘一丁目(1~19番、24~31番)、自由が丘二丁目(8~19番)、自由が丘三丁目(5~12番)
- ※新校に設置する特別支援学級の通学区域は、現在の第八中学校E組の通学区域とします。新校舎の移転に合わせて、通学区域の検討・見直しをする予定です。

目指す学校像

目指す学校像	学校づくりの視点	
人権尊重の精神を基調とし、自律的な学びと共創的な活動を通して、未来を切り拓く力を育てる学校	学びの充実	・一人ひとりの理解度や特性に応じた学習機会の充実 ・各教科の学びを生かした探究的な学習の推進 ・学校の教育力を高める各種教育機関等との連携
	豊かな心・健やかな体の育成	・生徒の主体性を大切に学校行事の運営 ・生徒自ら健康的な生活習慣の定着を図る取組の充実 ・ユニバーサルデザインの視点に基づく学習環境の構築
	地域との連携	・地域との関わりを生かした「小・中連携子ども育成プラン」の推進 ・地域を支える自覚を促す行事への参画 ・健全育成を推進する学校と地域のパートナーシップの構築
	誇りとやりがいをもって勤務できる環境の構築	・校務支援体制づくりの推進 ・業務改善につながる施設設備等の先進化 ・幅広い教育活動への地域教育資源の活用